

* 特別な栄養管理の必要性(あり ・ なし) * 病室入り口への氏名表示に (同意する・同意しない) * 入院薬剤管理指導を依頼 (する ・ しない)

主治医 _____ 担当医 _____ 病棟師長 _____ 担当看護師 _____ 平成 年 月 日 患者または代理氏名 _____ 担当管理栄養士 _____

病名	症状		検査処置						
	外来	手術前日 (/)	手術当日 (/)		手術後 1 日目 (/)	手術後 2 日目 (/)	手術後 3 日~6 日目 (/ ~ /)	手術後 7 日目以降 (/ ~)	
			手術前	手術後					
点滴内服薬		入院時、内服しているお薬がありましたら看護師にお知らせください。 手術の必要物品 ・ライトセット ・腹巻 1~2 枚 ・腹帯 1~2 枚 ・清浄綿 ・生理用ナプキン (・ストロー)	手術が 2 番目以降の方は脱水予防の点滴を行ないます。	手術後も点滴を継続します。抗生剤の点滴を朝・夕と行います。背中に痛み止めの管が入ってきます。使い方は看護師が説明します。その他にも注射や坐薬を用意しています。何かあればナースコールでお知らせください。	点滴を継続します。抗生剤の点滴を朝、夕で行ないます。食事が開始されれば飲み薬の痛み止めが使用できます。	点滴を継続します。抗生剤の点滴を朝、夕で行います。発熱などがなければ夕方に点滴が終了となります。	・抗生剤の内服が開始されます。朝、昼、夕食後に内服してください。 ・背中の痛み止めの管が外れます。	抗生剤の内服が終了します。	
行動範囲		午後から麻酔科の診察があります。お部屋でお待ち下さい。	・手術まで病棟内でお過ごし下さい。 ・お部屋をナースステーションの近くに移動する場合があります。	手術後は尿の管が挿入されます。ベッド上で動くことも可能ですが、はじめのうちは介助しますのでナースコールでお知らせください。	看護師付き添いのもと、頭を起こすことから始めます。座ることや、体調次第で歩行も可能になります。手術後は合併症予防や回復促進のために積極的に歩行を促していきます。	尿の管が抜去され、トイレ歩行開始となります。初めて一人で歩く時は必ず看護師を呼んで下さい。	制限はありませんが体力が低下しているため、少しずつ活動範囲を広げていってください。		
食事	特に制限はありません。	食事は夕食まで出ます。麻酔科医の指示した時間から飲んだり食べたりできません。	麻酔科医の指示した時間から飲んだり食べたりできません。		おならの有無や腸の動きで飲水が開始されます。		流動食、もしくは 3 分粥より食事開始となります。その後 5 分粥、全粥、常食となっていきます。		
説明	外来看護師により入院・手術の説明があります。	・入院時、病棟看護師より病棟の案内や手術の説明があります。また手術室の看護師からも手術に関する説明があります。 ・主治医より手術の説明があります。その際必要書類にサインしていただきます。	予定入室時間 (:) 頃 予定手術時間 約() 時間 + 麻酔時間 ※あくまで目安です。手術の状況により前後します。 手術中、御家族はデイルームか一階のエレベーターホールでお待ちください。病棟を離れる際は看護師に声をかけて下さい。				担当看護師より退院指導があります。 		
清潔	特に制限はありません。	シャワー浴になります。シャワー浴後、弾性ストッキングを着用します。			看護師が全身清拭を行います。下着やナプキン、清浄綿は分かりやすい所に置いておいて下さい。		・全身清拭を行います。洗髪台での洗髪も可能になります。シャワー浴はできません。 ・トイレに行くようになったら清浄綿をトイレに持ち参し、陰部を清潔にしてください。(方法は看護師が説明します)		創部の状態をみてシャワー浴が開始となります。湯船につかることは次回外来受診時まで避けて下さい。次回外来受診時に主治医に確認して下さい。
検査処置	胸部のレントゲン、採血、心電図、呼吸機能検査を行ないます。	・爪を切り、マニキュアは落として下さい。 ・手術部位の除毛を行います。 ・下剤の内服をします。 ・内診を行う場合があります。	・朝、浣腸をします。 ・手術に行く前に身につけているものをすべて外し、手術着と紙パンツを着用します。		採血を行います。 ベッド、もしくは婦人科処置室で毎日創部の確認を行います。		採血を行います。		・創部の抜糸をする場合があります。 ・退院前の診察があります。

※ 状態に応じ、予定が異なることも考えられます。何か質問があれば看護師にお聞きください。